| | 母さまの妊娠や出産に関することについてお てください。選択肢がない場合は □ 内に数: | |
|--|--|-------------------|
| 質問4 | これまでの妊娠や出産についてお答えくだる | さい。 |
| | 初めて妊娠した時の年齢はいくつですか | 歳 |
| | 経腟分娩 | |
| | 帝王切開分娩 | |
| | 子宫外妊娠 | |
| | 自然流産の回数 | 回(うち連続流産回) |
| | 人工流産(中絶)の回数 | |
| 質問5 | 調査に協力いただけるお子さまの妊娠の際、 つだけ〇) | 不妊治療を受けられましたか?(一 |
| | 1. はい (→質問 5-1 ヘ) 2. し | ハハえ (→質問6へ) |
| _ | 質問 5-1 質問 5 で「1.はい」を選択された方は (あてはまるものすべてに〇) | 不妊治療の内容を教えてください。 |
| | 1. 排卵誘発剤 2. 人工授精 | 3. 体外受精 |
| | 4. 体外受精(胚盤胞移植) | |
| 質問6 | 調査に協力いただけるお子さまの妊娠の際、 したか?(あてはまるものすべてに〇) | あなたに以下のような状況がありま |
| | 1. 心臓病 2. 高血圧症 | 3. 糖尿病 |
| | 4. 妊娠中毒症 5. その他(|) |
| 質問7 | 調査に協力いただけるお子さまの妊娠中、特ものはありますか? (あてはまるものすべて | |
| | 1. 牛乳・乳製品 2. 卵 | 3. 大豆 |
| | 4. 魚 5. 牛肉 | 6. ピーナッツ |
| ł | 7. その他(具体的に: |) 8. 特にない |
| 質問8 | 調査に協力いただけるお子さまの妊娠中、 たりしていましたか?(一つだけ〇) | 薬を飲んだり、注射・点滴を受けてい |
| | 1. はい — 2. (| いいえ |
| For propagation | ▼ 質問 8-1 どのような薬・注射を、いつ頃、受け | ましたか |
| t byg yggram mann y dina | 薬 | - 妊娠 - 週~ - 週 |
| and Addition to the and | 薬 | |
| in the Particular Control of the Con | * 菜 | |
| To come of the com | | |

| | かりみりか | ? (一つだけ0) |
|-------|---|---|
| | 1. はい | 妊娠 週~ 週の頃 2. いいえ |
| 質問10 | 調査に協 | カいただけるお子さまの妊娠中、飲酒をしていましたか?(一つだけ〇) |
| | 1. はい | 妊娠 週~ 週 2. いいえ |
| 質問11 | 調査に協 | 力いただけるお子さまの妊娠中、あなたは喫煙をしていましたか? |
| | 1. はい | 2. いいえ |
| , F | ————— 質問 11−1 | どのくらいの期間ですか 妊娠 週~ 週 |
| Ę | 質問 11-2 | どのくらい頻度、本数ですか 1. 時々 本 2. 毎日 本 |
| | | カいただけるお子さまの妊娠中、あなたは、家の中、外出先の屋内で、ったタバコの煙を吸い込む機会がありましたか?(一つだけ〇) |
| | 1. あった | 2. ほとんどなかった |
| F | 質問 12-1 | それはどのくらいの頻度でしたか 週に 日くらい |
| j. | 質問12-2 | そのような場合、他の人が吸ったタバコの煙を、あなたが吸う時間は1日のうち、 |
| | | どれくらいでしたか。 1日に 時間くらい |
| 質問13 | 細木にわせ | |
| | | Dいただけるお子さまの妊娠中、家屋のリフォームや、新築家屋への引 しましたか。 |
| | | |
| | っ越しなど 1. はい | しましたか。 |
| | っ越しなど 1. はい | しましたか。 |
| F. L. | っ越しなど 1. はい 質問 13-1 | しましたか。 |
| F. L. | っ越しなど 1. はい 質問 13-1 | しましたか。 2. いいえ リフォーム 妊娠 週~ 週 引っ越し 妊娠 週頃 |
| 質問14 | っ越しなど 1. はい 質問 13-1 調査に協力 1. はい | しましたか。 2. いいえ リフォーム 妊娠 週~ 週 引っ越し 妊娠 週頃 けいただけるお子さまの妊娠中、ペットを飼っていましたか。 |
| 質問14 | っ越しなど 1. はい 質問 13-1 調査に協力 1. はい | しましたか。 2. いいえ リフォーム 妊娠 週~ 引っ越し 妊娠 週頃 けいただけるお子さまの妊娠中、ペットを飼っていましたか。 2. いいえ |
| 質問14 | っ越しなど 1. はい 質問 13-1 調査に協力 1. はい 質問 14-1 | しましたか。 2. いいえ リフォーム 妊娠 週〜 引っ越し 妊娠 週頃 けいただけるお子さまの妊娠中、ペットを飼っていましたか。 2. いいえ ペットの種類 家屋の(1.内 2.外)妊娠 週〜 |
| 質問14 | っ越しなど 1. はい 質問 13-1 調査に協力 1. はい 質問 14-1 | しましたか。 2. いいえ リフォーム 妊娠 週〜 引っ越し 妊娠 週頃 いただけるお子さまの妊娠中、ペットを飼っていましたか。 2. いいえ ペットの種類 家屋の(1.内 2.外) 妊娠 週〜 ペットの種類 家屋の(1.内 2.外) 妊娠 週〜 ペットの種類 家屋の(1.内 2.外) 妊娠 週〜 |
| 質問14 | 1. はい 質問 13-1 調査に協力 1. はい 質問 14-1 調査に協力 1. はい | 2. いいえ リフォーム 妊娠 週~ 週 引っ越し 妊娠 週頃 いただけるお子さまの妊娠中、ペットを飼っていましたか。 2. いいえ ペットの種類 家屋の(1.内 2.外) 妊娠 週~ 週 ペットの種類 家屋の(1.内 2.外) 妊娠 週~ 週 しいただけるお子さまの妊娠中、お仕事をされていましたか。 |
| 質問14 | 1. はい 質問 13-1 調査に協力 1. はい 質問 14-1 調査に協力 1. はい | |

質問9 調査に協力いただけるお子さまの妊娠中、食事をぬくなどダイエットをした時が

質問16 <u>調査に協力いただけるお子さまの妊娠中</u>、毎月1回以上、次のもの(a.~u.)をご自分で扱いましたか? お仕事で、半日以上かけて扱った回数を教えてください。 例にしたがって、あてはまる番号1つに〇を付けてください。

| 例にしたがって、めてはよる笛号 | 1 210001 | | V 10 | |
|--|--|-----------------------|--------------|-------|
| | 1. いいえ | 2. 月1回~月 2、3回程度 | 3. 週に1回以上 | 4. 毎日 |
| 例) 灯油・石油・ベンジン・ガソリン | 1 | 2 | (3) | 4 |
| a. 灯油・石油・ベンジン・ガソリン | 1 | 2 | 3 | 4 |
| b. 塩素系漂白剤・殺菌剤(「混ぜるな危険」の表示の あるもの) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| c. 医療用消毒殺菌剤 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| d. 油性マジック | 1 | 2 | 3 | 4 |
| e. 水性ペイント・インクジェットプリンタ | entransporter en esta e protection alle a communication de la production d | 2 ' | 3 | 4 |
| f. 有機溶剤(シンナー、試験・分析・抽出用溶剤、ドライクリーニング用洗浄剤、染み抜き溶剤、ペイント塗料、除光液(リムーバー)など) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| g. コピー機、レーザープリンタ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| h. エンジンオイル | 1 | 2 | 3 | 4 |
| i. ホルマリン・ホルムアルデヒド | 1 | 2 | 3 | 4 |
| j. 抗がん剤(自分の治療薬は除く) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| k. 病院で手術や検査に用いる全身麻酔薬 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 1. 殺虫剤 | T | 2 | 3 | 4 |
| m. 除草剤 | | 2 | 3 | 4 |
| n. 上記以外の、または種類がわからない農薬 *名前がわかれば教えてください (→) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| o. 放射線・放射性物質・アイソトープ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| p. 微生物 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| q. はんだなど鉛を含む製品 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| r. 無鉛はんだ(鉛フリーはんだ) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| s. クロム、ヒ素、カドミウム | 1 | 2 | 3 | 4 |
| t. 水銀 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| u. 染料 (毛髪染め) | 1 1 | 2 | 3 | 4 |
| v. そのほか化学物質などの名前がわかれば教えてく ださい。 (→) | 1 | 2 | 3 | 4 |

質問17 お子さまのご両親のアレルギーについて伺います。

それぞれに、該当するものに〇を付けてください。いくつでも。

| | | 喘息 | アトピー性皮膚炎 | ルル - 性鼻炎 (花粉症など) | アレルギー性結膜炎 (花粉症など) | 食物アレルギー | じんましん | なし |
|---|------|----|----------|---------------------|----------------------|---------|-------|----|
| | お母さま | 1. | 2. | 3. | 4. | 5. | 6. | 7. |
| - | お父さま | 1. | 2. | 3. | 4. | 5. | 6. | 7. |

| Samuel Control of the | |
|--|----------|
| 質問18 出生時について教えてお尋ねします。 | |
| 質問 18-1 出生は何週令でしたか 週 | |
| 質問 18-2 出生時体重はいくらでしたか kg | |
| 質問 18-3 出生時身長はいくらでしたか cm | |
| 質問 18-4 出生時頭囲はいくらでしたか cm | |
| 質問 18-5 1. 経腟分娩 2. 帝王切開分娩 | |
| 質問 18-6 出生時に以下のような状況がありましたか。あったもの全てに〇をしてくださ | い。 |
| 1. 遷延分娩 2. 早期破水 3. 胎盤早期剥離 | |
| 4. 臍帯巻絡 5. 新生児黄疸 6. その他() | |
| 質問19 出生直後に以下のような状況がありましたか。 | |
| 1. 仮死状態 2. 呼吸困難 3. 新生児特定集中治療室に入った | = |
| 4. 新生児黄疸 5. その他() | |
| 質問20 授乳の状況についておたずねします。 | |
| 質問 20-1 母乳を飲んだ期間を教えてください。 | |
| 質問 20-2 人工栄養(粉ミルク)を飲んだ期間を教えてください。 | |
| □□□ ヶ月 ~ □□□ ヶ月 | |
| 以下は、質問 20-2 で人工栄養(粉ミルク)を使った方だけお答えください。 | |
| 質問 20-3 人工栄養(粉ミルク)は、どのような物でしたか | |
| 1. 普通ミルク 2. アレルギー用ミルク 3. 特殊ミルク | |
| 質問 20-4 人工栄養(粉ミルク)を溶いたのはどれですか。主なものを1つ選んでくださ | را. ا |
| 1. 水道水(浄水器を通さない) 2. 水道水(浄水器を通す) | |
| 3. 井戸水(浄水器を通さない) 4. 井戸水(浄水器を通す) | |
| 5. 市販のボトル入り飲料水 6. その他() | |

| 質問21 離乳食についてお聞きします 質問21-1 離乳食を始めたのはいつ | | ·か。 | | | | |
|--|-----------------------------------|--|---|--|--|--|
| (ここでいう離乳食には乳 | | | かます。) | 生後 | ケ月 ケ月 | 頃から |
| 質問 21-2 お子さんは、以下の食べいつから食べ始めました | | らを含む | でで できない でんり でんり でんり でんり でんり でんし かいまい でんし かいまい でんし かいまい かいまい かい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい | 材料の一部 | 『に含むも | の)を |
| | 6 か月 以前 | 7~8 ヶ月 | 9~10 ヶ月 | 11~12 ヶ月 | 1歳 ~1歳半 | 1 歳半 以降 |
| 米 (おかゆ、せんべいなどを含む) | | | | | | |
| 小麦 (うどん、パンなど) | The photos of all the contract of | Acceptance Acceptance | | | | |
| 大豆 (豆腐、納豆など) | manufacture removement made | | | | The property of the second section of the section of the second section of the section of the second section of the section o | |
| くだもの、果汁(しぼり汁、ジュースなど) | | The second second | | | | |
| 牛乳 (ヨーグルト、チーズなど)粉ミルク除く | | | | | | |
| 鶏卵 (卵ボール、パンなどを含む) | | | Andrews and the second of the | the second constraints of | | |
| 白身魚 (たら、かれい等) | | Annual program of the state of | | egy marging and marrier and digital | | |
| 赤身魚 (マグロ、鮭、かつお節など) | | | | | | |
| 青魚 (いわし、さんま等) | And the second second | Andrew Control | | | Agreement from the district of the second of | |
| 鶏肉 ※エキス類は除く | | The second of the second | guer encontrate de servición | | | Assert Assert Property of the Control of the Contro |
| 豚肉 ※エキス類は除く | | | | | | |
| 牛肉 ※エキス類は除く | | | and the second of the second of | | | |
| ピーナッツ | | | | processor in the Property of t | | |
| そば | | | | | | |
| えび・かに | | The state of the s | | | | |
| 質問 22 普通食(大人とほぼ同じ食 | 事)を始 | めたの | はいつ頃 | からです | · か。 | |
| 生後 歳 | | ヶ月頃だ | から | | | |
| 質問 23 今までに、授乳、離乳食、電症状が出たことがありますか。 | 普通食を | 飲食し | た後、1 | 時間から | 数日間に | 何らかの |
| 1. 症状が出たことがある ——— | | 2. 症 | 犬が出たこ | ことはない | ng gyapan mandamiligan gagas mandang termaganggan mangandi di digi digi anggan | |
| ♥ 質問 23-1 どんな症状でしたか? | あてはま | そるものを | を全て選ん | でください | , \ _o | |
| 1. じんましんや皮膚のかゆみ 2 | 2. 顔や唇 | のむくみ | · 腫れ | 3. 顔色 | が悪くなっ | った |
| 4. 意識がなくなった 5. せきが | 出た | 6. ぜー | ぜーした | 7.1 | けいれんし | た |
| 8. 吐いた 9.下痢をした 10 | . ぐった | りした | 9. そのtt | <u>b</u> (| |) |

| 質問 23-2 具合が悪くなった食品(および加工品)は何ですか? あてはまるもの全ての 食品を選んでください。選択肢にない食品はその他に記載してください。 |
|---|
| 1. 母乳 2. 牛乳(チーズ、ヨーグルト等を含む) 3. 普通の粉ミルク |
| 4. 鶏卵(卵を含む食品を含む) 5. 小麦(パン、うどんを含む) |
| 6. 大豆(豆腐、納豆等、枝豆を含む) 7. 米(おかゆ、せんべい等を含む) |
| 8. 果物・ジュース 9. 魚 10. 貝類 11. えび・かに 12. そば |
| 13. ごま 14. ナッツ類 15. その他() |
| 質問 24 予防接種を受けたことがありまか。ある場合は、一度でも受けた事のある予防接種を全て選んでチェックしてください。 |
| 1. ある ― 2. ない |
| |
| 3種混合(DPT:ジフテリア、百日咳、破傷風混合ワクチン) |
| 4種混合(DPT-IPV:ジフテリア、百日咳、破傷風混合ワクチン、不活化ポリオ混合ワクチン) |
| BCG ポリオ(不活化・注射) ポリオ(生・経口) |
| MR ワクチン(麻疹・風疹混合) 麻疹(はしか) 風疹(三日ばしか) |
| ロタウイルス ヒブ(インフルエンザ菌) 肺炎球菌 |
| └── |
| B型肝炎 日本脳炎 その他(|
| 質問 24-1 RS ウイルスの予防のために注射(シナジス)を受けたことがありますか。 |
| 1. ある 2. ない 3. わからない |
| 質問25 過去に予防接種(ワクチン)を受けて、副反応(強い発熱、発疹、アナフィラキシー反応など)がありましたか?(一つだけ〇) |
| 1. はい 2. いいえ |
| D. 調査に協力いただけるお子さまの病気や健康上の問題について伺います。質問26 お子さまが、今までに医師に診断された病気がありますか? |
| a. 先天性の病気(生まれる前からある身体の病気、わかる範囲で病名を教えてください。) |
| 1. 外見上の病気 (病名) |
| 2. 内臓の病気(病名)) |
| b. 免疫系の病気 |
| 1. 乳児消化管アレルギー 2. アトピー性皮ふ炎 3. 食物アレルギー 4. 気管支ぜん息 |
| 5. 川崎病 6. アレルギー性結膜炎·アレルギー性鼻炎·花粉症 7. じんましん |
| 8. アレルギー性紫斑病 9. 免疫不全症 10. その他() |

| C. | 感染症 |
|--|---|
| THE CONTRACTOR STATES AND ASSESSMENT OF THE CO | 1. 上気道炎(咽頭炎、かぜなど) 2. 肺炎・気管支炎 3. 髄膜炎 4. 脳炎・脳症 |
| | 5. 心筋炎 6.細菌性心内膜炎 7.肝炎 8.急性虫垂炎(もうちょう):手術した |
| The part of the late of the la | 9. 尿路系感染症(ぼうこう炎など) 10. 中耳炎 11. 突発性発疹 12. 手足口病 |
| AND THE CASE OF TH | 13. ヘルパンギーナ(夏かぜ) 14. 嘔吐性下痢症(ウイルス性胃腸炎) 15. インフルエンザ |
| | 16. RS ウイルス感染症 17. アデノウイルス感染症(咽頭結膜熱、プール熱) |
| | 18. カンジダ症 19. ヘルペス感染症 20. 風疹(三日ばしか) 21. 麻疹(はしか) |
| | 22. 水痘(水ぼうそう) 23. 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 24. 百日咳 |
| | 25. 溶連菌感染症 26. その他 () |
| d. | 神経・発達の病気 |
| | 1. 精神運動発達障害 2. 脳性麻痺 3. 熱性けいれん 4. てんかん 5. その他 |
| e. | ホルモン・代謝の病気 |
| | 1. 糖尿病 2. 成長ホルモンの病気 3. 甲状腺機能の病気 4. その他 |
| f. | 心臓の病気 |
| e e e e e e e e e e e e e e e e e e e | 1. 心筋症 2. 不整脈 3. その他 |
| d | . 腫瘍などの病気 |
| and the state of t | 1. 白血病・血液腫瘍 2. 脳腫瘍 3. 神経芽細胞腫 4. その他 |
| e. | 外傷(けがなど) |
| | 1. 熱傷(やけど) 2. 頭部打撲(転倒・転落など) 3. 骨折(どの骨ですか) |
| | 4. 異物誤嚥、誤飲(食べ物以外の物を間違えて飲み込むこと) 5. 溺れる |
| AMONE AND | 6. 怪我(どのような怪我ですか:) |
| 質問2 | 27 病気やけがで入院したことがありますか? |
| | 1. はい 2. いいえ |
| La sur POPP annual | 質問 27-1 いつ頃に、どのような理由(病気やけが)で、ですか? |
| Camera Company | 歳 ヶ月頃 理由: |
| and the second second | 歳 ヶ月頃 理由: |
| ab to prove see the best of the province of th | |
| an action of the | |
| 質問2 | 28 この1ヶ月のお子さまの健康状態はいかがでしたか? |
| | 1. 良い 2. まあ良い 3. ふつう 4. あまり良くない 5. よくない |

| | _ | さまの生活状況につ まる数字をご記入く | | す。あてはまる | 番号に | ○をつけ、 | 内に |
|---|----|------------------------|-------------------------|--|------------------|----------|-------|
| 質問2 | | お子さまが、寝床 して何時頃ですか? | | | こする (| (消灯する) | 時刻は平 |
| | | 午前•午後((| つで囲む) 目 | 分 | | | |
| 質問3 | 3O | お子さまの、平均的 | かな起床時刻は何時 | 時頃ですか? [| 時・分る | を記入してく | (ださい。 |
| | | 午前•午後((| つで囲む) 📗 🖪 | 分 | | | |
| 質問3 | 31 | お子さまは、昼寝(7 | 友の就寝以外)をし | ますか? それ | は合計 | けどのくらい | ですか? |
| | | 一日に平均 | 時間 | 分間くらい | | | |
| 質問3 | | お子さまが、夏のE したか? | 3中(9 時から 17 | ' 時)、だいたい | どのく | らい屋外で | 遊んでい |
| | | 一日の平均 | 時間 | 分間くらい | | | |
| 質問3 | 33 | お子さまは、何か習 | 習い事をしています | ナか? | | | |
| | 1 | . はい — | 2. いいえ | | | | |
| Viginal and the second of the | 質 | 問 33-1 どのような | 習い事にどのくらい。 具体的に(水泳、ハ | | ど) | 頻度 | |
| | | 身体を動かす習い事 | (| |) | 月に | 度 |
| | | | (| |) | 月に | 度 |
| | | 音楽 | (| |) | 月に | 度 |
| | | | (| |) | 月に | 度 |
| | | 学習・その他 | (| |) | 月に | 度 |
| | | | (| y galagagan kan ang mayang galaki kan ang mga pagagan kan man ang apang ang dalaka kan |) | 月に | 度 |
| 質問 | 34 | お子さまの飲食にて | ついて、ほぼ毎日色 | 食べているもの | を選ん | でください。 | |
| | | 1. 朝食 | 2. 午前のおやつ | 3. 昼食 4. | 午後のな | おやつ 5. | 夕食 |
| | | 6. 夜のお | やつないし夜食 | | | | |
| 質問 | 35 | お子さまは、一週間 | | 虱呂(バスタブ) |)に入り | りますか? | |
| 質問 | 36 | お子さまは、一週間 | ります。 日に平均何回、お別 日 | 易につからずに | シャワ [、] | ーのみ浴びま | きすか? |
| 質問 | 37 | お風呂やシャワーの | の時に石けん(液体 | 本ソープを含む | 使いる | ますか? | |
| | | 1. 毎回使う | 2. だいたい使う | 3. ときどき使 | う 4 | 4. ほとんど使 | りない |

| F. お子様の生活環境(住居・環境など)についておたずねします。あてはまる番号にOをつけ、 内にあてはまる数字をご記入ください。なお、最近転居された場合は、一番長く住んでいた場所でお答えください。 |
|--|
| 質問38 お子様の出生後、ご自宅の大規模な増改築、内装工事を行いましたか? |
| 1. はい 2. いいえ |
| 質問39 冬の居間の暖房には次のどれを使いましたか?(あてはまる番号と記号をすべて 〇印で囲んでください。) |
| 1. 冬でも使用しない 2. 使用する(a~hの中で、あてはまるものすべての記号を○印で囲んでください。) → a. 石油ストーブ、石油ファンヒーター(排気が室内に出るもの) b. ガスストーブ、ガスファンヒーター(排気が室内に出るもの) c. 石油(もしくはガス)クリーンヒーター(排気筒が外に出るもの) d. エアコン、スチーム、オイルヒーター e. 電気こたつ、電気ストーブ、ホットカーペットなどの電気暖房器具 f. セントラルヒーティング、床暖房 g. 石炭ストーブ、薪ストーブ、暖炉 h. 炭、練炭の火鉢やこたつなど i. その他(具体的に: |
| 質問 40 お子さまは現在、家の中、外出先の屋内で、他の人が吸ったタバコの煙を吸い 込む機会がどれくらいありますか?(一つだけ〇) |
| 1. ほとんどない 2.ある 週に 日くらい |
| 質問40-1 そのような場合、他の人が吸ったタバコの煙を、お子様が吸う時間は 1 日のうち、どれくらいですか?(一つだけ〇) |

1. 1 時間未満 2. 1~2 時間くらい 3. それ以上

質問は以上です。

調査にご協力いただきありがとうございました。

| 実施 | | : | 施設名 | : | | | | | | _ |
|--|--|---|---|--|---|--|---|---|---|--------------------------|
| 施健健 | <u> </u> | | -) | | | | | | | |
| 関言 | | | | | | | ——————— 西暦 | *************************************** | | E |
| 情 | | | | | | - | | | | |
| 52% | | | | | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | 44444 | | | |
| | 録番号(ID) | | | | | | | | | |
| | | | | | | · 西暦 | | | |)歳 |
| 4 住 | ·所: <u>〒(</u> | |) | | | | | | *************************************** | nomes. |
| 電 | 話番号(自宅 |): | | | (扎 | 隽帯): | | unitaria de | | |
| 登 | :録時の妊娠週 | 数: | 週 | 日 | | | | | | |
| B 分 | ·娩予定日:西 | 暦 | 年 月 | <u>日</u> (算出7 | 方法:□最終 | ·月経 □CRLで | 補正 口人エ | 授精・体 | 外受精日。 | より) |
| 分 | · 娩予定場所: | 口当院 「 | 7.里帰り 里嶋 | 引り予定地・ | | (分娩予) | 定施設名· | | | |
| | | | | | | | | *************************************** | | |
| | | | | | | | エまで) | | | |
| 見在の体 | \$重: |].[] kg | 計測日:西曆 | | 月 | 日 | | | | |
| う回の好 | 壬娠 :□自然妊 | 娠 口排卵 | B誘発 □AIH | □体外受精() | [VF) □顕微: | 受精(ICSI) □ |]新鮮胚移植 | □凍結胚種 | ∮植 □胚 | 盤胞 |
| | | | | | | | | | | |
| 台児数及 | なび膜性診断: | □単胎 [| □双胎(□DD | □MD □MM | ○□品胎 | 口要胎以上 | | | | |
| | | , | | | | | | 度) | | |
| 月経異常 | 常:□なし □ |]あり→ [| □月経不順 | 一多囊胞性卵 | 巣症候群 □ |]月経障害([| □軽度 □高 | 度) | | |
| 月経異常 壬娠前 <i>σ</i> | 常:□なし □ 〕定期的投薬 : |]あり→ [□なし [| □月経不順 □あり→ <u>*別</u> | 出る嚢胞性卵 | 巣症候群 □ |]月経障害([<u>でを実施</u> | | 度) | | |
| 月経異常 壬娠前 <i>の</i> 壬娠分娩 | 常:□なし □ D定期的投薬 : 免歴: 妊娠_ |]あり→ [□なし [回(今 | □月経不順 □あり→ <u>* 別</u> ; □を除く)↓ | コ多嚢胞性卵 紙による詳細 * 多胎の場合 | 巣症候群 [聞き取り調査 は児数分の番 |]月経障害([<u>⑤を実施</u> §号を使用して | ください。 | | | |
| 月経異常 壬娠前 <i>の</i> 壬娠分娩 | 常:□なし □ D定期的投薬 : D歴: 妊娠_ 妊娠 () 歳 |]あり→ [□なし [<u>回(今</u> :で妊娠 妊 | □月経不順 □あり→ <u>*別</u> □を除く)↓ E娠()週 | □多嚢胞性卵 低による詳細 * 多胎の場合 □分娩(□経 | 巣症候群 □ 聞き取り調査 は児数分の番 室 □帝王切 |]月経障害([፩を実施 軽号を使用して 開)□自然流産 | ください。 | □死産 | □単胎 | |
| 月経異常 任娠前σ 任娠分娩 第1回 | 常:□なし □ D定期的投薬 : 免歴: 妊娠_ 妊娠 () 歳 出生児 |]あり→ [□なし [□ 回(今 :で妊娠 妊 :(| □月経不順 「 □あり→ <u>*別</u> 「回を除く)↓ E娠 () 週) g | □多嚢胞性卵 紙による詳細 *多胎の場合 □分娩(□経 □男 □女 | 巣症候群 C 聞き取り調査 は児数分の番 室 口帝王切 口性別不明 |]月経障害([<u>⑤を実施</u> §号を使用して | ください。 □人工流産 亡(原因: | □死産 | | |
| 月経異常 任娠前σ 任娠分娩 第1回 | 常: □なし □ D定期的投薬: 免歴: 妊娠 妊娠 () 歳 出生児 妊娠 () 歳 |]あり→ [□なし [□ 回(今 :で妊娠 妊 :(| □月経不順 □ □あり→ <u>*別</u> □を除く)↓ 「回を除く)↓ 「振() 週) g | □多嚢胞性卵 紙による詳細 * 多胎の場合 □分娩(□経 □男 □女 □分娩(□経 | 巣症候群 □ 間き取り調査は児数分の番室 □ 帝王切□性別不明室 □ 帝王切 | □月経障害([を実施 ・ | ください。 ロ人工流産 亡(原因: ロ人工流産 | □死産 | | |
| 引経異常 妊娠前の 妊娠分娩 第1回 第2回 | 常:□なし □ D定期的投薬 : 免歴: 妊娠_ 妊娠 ()歳 出生児 妊娠 ()歳 |]あり→ [□なし [□(今 :で妊娠 妊 :(:で妊娠 妊 | □月経不順 「 □あり→ <u>*別</u> □を除く)↓ E娠 () 週) g E娠 () 週) g | □多嚢胞性卵 紙による詳細 * 多胎の場合 □分娩(□経 □男 □女 □分娩(□経 □男 □女 | 巣症候群 □ 間き取り調査は児数分の番室 □帝王切□性別不明室 □帝王切□性別不明 | □ 月経障害(□ □ E を実施 | ください。 □人工流産 亡(原因: □人工流産 亡(原因: | □死産 | | 口多胎 |
| 引経異常 妊娠前の第二年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二年 | 常:□なし □ D定期的投薬 : 妊歴: 妊娠 妊娠 () 歳 出生児 妊娠 () 歳 出生児 妊娠 () 歳 |]あり→ [□なし [□(今 :で妊娠 好 :(:で妊娠 好 :(| □月経不順 □ □あり→*別式 □を除く)↓ E娠()週 | □ 多嚢胞性卵 ※ 多胎の場合 □ 分娩(□経 □ 男 □ 女 □ 別 □ 女 □ 別 □ 女 □ 別 □ 女 □ 別 □ 女 | 巣症候群 □ 聞き取り調査は児数分の番室 □帝王切□性別不明室 □帝王切□性別不明室 □帝王切□性別不明 | □ 1月経障害(□ 1 | ください。 □人工流産 亡(原因: □人工流産 亡(原因: □人工流産 亡(原因: □人工流産 亡(原因: | □死産□死産□死産 | □単胎 | 口多胎 |
| 月経異常 妊娠前の 第 1 回 第 2 回 | 常: □なし □ 2定期的投薬 : 妊娠 |]あり→ [□なし [□(今 :で妊娠 妊 :(:で妊娠 妊 :(:で妊娠 妊 | □月経不順 「 □あり→ <u>*別だのを除く)↓</u> E娠() 週 | □多嚢胞性卵 ※多胎の場合 □分娩(□女 □分娩(□女 □分娩(□女 □分娩(□女 □分娩(□女 □分娩(□女 □分娩(□女 □分娩(□女 □分娩(□女 | 巣症候群 □ 間き取り調査は見数分の番室 □性別不明度 □性別不明度 □性別不明度 □性別不明度 □性別帝王明度 □性別帝王明 | □ 月経障害(□ □ を実施 | ください。 □人工流産 亡(原因: □人工流産 亡(原因: □人工流産 亡(原因: □人工流産 亡(原因: | □死産□死産□死産 | □単胎 | □多胎 |
| 月経異常 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 常: □なし □ D定期的投薬 : 免歴 : 妊娠 妊娠 () 歳 出生児 歳 出生児 歳 妊娠 () 歳 出生児 歳 妊娠 () 歳 出生児 歳 妊娠 () は 出生児 歳 |]あり→ [□なし [□(今 で妊娠 妊 :(で妊娠 妊 :(で妊娠 妊 :(| □月経不順 「 □あり→*別式 □を除く)↓ E娠() 週 | □ 多嚢胞性卵 無による詳細 * 多胎の場合 □ 分娩 □ □ □ 分 □ □ 別 | 巣症候群 □ 聞き取り調査は児数分の番室 □性別不明空 □性別不明空 □常王切□性別不明空 □常王切□性別不明空 □性別不明 | □ 月経障害(□ 1 | ください。 □人工流産 亡(原因: □人原因: □人原因: □人原因: □人原因: □人原因: □人原因: □人原因: □人原因: □ | □死産□死産□死産 | □単胎 | □ 9 kl |
| 月経異常 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | **: □なし □ □ |]あり→ [□なし [□(今 で妊娠 好 :(で妊娠 好 :(で妊娠 好 :(で妊娠 好 | □月経不順 「 □あり→*別式 □を除く)↓ E娠() 週 | ・ 多嚢胞性卵・ 多嚢胞性卵・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 巣症候群 □ は見数 の で 切 は 見数 で 回性 回常 不 | □月経障害(□ を実施 ・ | ください。 □人工流産 亡(原因: □人原因: □人原因: □人原因: 亡(原人工流産 亡(原人工流産 亡(原人工流産 亡(原人工流産 亡(原人工流産 | □死産□死産□死産 | □単胎 | □ 9 kl |
| 月経期 | 常: □なし □ □ |]あり→ [□なし [□(今 :で妊娠 好 :(:で妊娠 好 :(:で妊娠 好 :(:で妊娠 好 :(| □月経不順 「 □あり→*別ボート | □多嚢胞性卵 紙による財 * 多胎の □ □ □ □ □ 分 明 娩 □ □ □ □ □ 分 明 娩 □ □ □ □ □ 分 明 娩 □ □ □ □ □ □ □ □ 分 明 娩 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | 巣症候群 □ 間き取り調査は見数 帝王切 宮 世 別帝不王明 宮 世 別帝不王明 宮 世 別帝不王明 宮 世 別帝王明 宮 世 別帝王明 切 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 | □ 月経障害(□ 下 を 実施 | ください。 □ (原工知: □ (原人取) □ (原人取) □ (原人取) □ (原入取) □ (原入取) | □死産 □死産 □死産 | □単胎□単胎□単胎 | □多胎 □多胎 □多胎 |
| 月経期 | **: □ な し ▼ : ** *** |]あり→ [□なし [□(今 で妊娠 好 :(:で妊娠 好 :(:で妊娠 好 :(:で妊娠 好 :(| □月経不順 □あり→*別式 □を除く)↓ E娠() 週 | ・ 多嚢胞性卵・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 巣症候群 □ は 別 き 取り調査 は 児 口 は 口 別 帝 不 可 切 回 空 性 口 別 帝 不 正 明 空 性 口 別 帝 不 正 明 で 性 口 別 帝 不 正 明 で 性 口 別 帝 不 正 明 で 性 口 常 工 明 切 回 で 世 口 の 市 工 明 切 回 で ロ い で こ | □月経障害(□ を実施 ・ | ください。 □(原因: □(原人原因: □(原人原因: □(原人原因: □(原人原因工因: □(原人原因工因: □(原人原因工因: □(原人原因工因: □(原因工因: □(原因工因: □(原因工因: □(原因工 | □死産 □死産 □死産 | □単胎□単胎□単胎 | □多胎 □多胎 □多胎 |
| 月 経 集 第 第 第 第 第 第 第 第 第 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 | **: □ な |]あり→ [□なし [□(今 で妊娠 妊 :(で妊娠 妊 :(で妊娠 妊 :(で妊娠 妊 :(で妊娠 妊 :(| □月経不順 「 □あり→*別だいのでは、 | □ 多嚢胞性卵 ※ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | 巣症候群 □ は 室 □ 室 □ 室 □ 図 回 図 回 図 回 図 回 図 回 図 回 図 回 図 回 図 回 図 | □ 月経障害(□ 下 を 実施 | ください。 □(の | □死産 □死産 □死産 □死産 | □単胎□単胎□単胎□単胎 | □多胎 □多胎 □多胎 □多胎 |
| 月 任 近 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 9 9 9 9 9 9 9 9 9 | **: □ 対 |]あり→ [□なし [□(今 で妊娠 妊 :(で妊娠 妊 :(で妊娠 妊 :(で妊娠 妊 :(で妊娠 妊 :(で妊娠 妊 :(で妊娠 妊 :(| □月経不順 「 □あり→*別だい。 □を除く)↓ E娠() 週 | □ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● | 巣症候群 □ | □月経障害(□ を 実施 | くだ □ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ | □死産 □死産 □死産 □死産 □死産 | □単胎 □単胎 □単胎 □単胎 | □多胎 □多胎 □多胎 □多胎 □多胎 □多胎 |
| 月 任 任 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 9 9 9 9 9 9 9 9 | 第: D | あり→ [| □月経不順 □ □ | □ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● | 巣症は空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□ | □月経障害(□ を | くっている。 ささいのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ | □死産 □死産 □死産 □死産 □死産 | □単胎 □単胎 □単胎 □単胎 | □多胎 □多胎 □多胎 □多胎 □多胎 |
| 月経 第第第第第第第 | 第: D | あり→ [| □月経不順 □ □ | □ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● | 巣症は空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□ | □月経障害(□ を 実施 | くっている。 ささいのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ | □死産 □死産 □死産 □死産 □死産 | □単胎 □単胎 □単胎 □単胎 | □多胎 □多胎 □多胎 □多胎 □多胎 |
| 月 任 | # : D | a り → [c c c c c c c c c | □月経不順 □あり→*別: □あり→*別: □を除く)↓ E娠() 週 | □●□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ | 巣症は空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□空□ | □月経障害(□ を | くしていていていている。をは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで | □死産 | □単胎 □単胎 □単胎 □単胎 □単胎 | □多胎 □多胎 □多胎 □多胎 □多胎 □多胎 |

| | ドクター調査票(Dr-0m): <mark>分娩時</mark> 母体入院中に記入 |
|-------------|--|
| | 施設登録番号: 施設名: |
| 実施 | 住所 : 〒(|
| 機関 | 電話番号: FAX: |
| 情報 | 記入者: □医師 □看護師・助産師 □事務職員 <u>記入日: 西暦 年 月 日</u> |
| | 氏名(自署) |
| お | 登録番号 (ID): |
| 母 様 | 氏名:年年月日: 昭和・平成・西暦 年月日 日()歳 |
| の | 住所:〒(–) |
| 情 報 | 電話番号(自宅):(携帯):(|
| 翻業 | 新生児情報(多胎の場合は選択 口第1子 口第2子 口第3子 口第子 *児1人につき本用紙1枚を使用してください) |
| 出名 | E日 : <u>平成・西暦 年 月 日</u> 妊娠∶ <u>週 日</u> (□生産 □死産) |
| | *妊娠が流産に終った場合: □自然流産 () 週 ()日 □人工流産 ()週 ()日 |
| 性別 | 训 :口男 口女 口不明 |
| APG | AR score:生後1分()点 5分()点 臍帯動脈血pH値: *小数点以下第二位まで |
| | 免様式:□自然 □誘導・促進 □吸引 □鉗子 □帝王切開 ── □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ |
| 無指 | 痛分娩: □なし □あり→ 麻酔様式:□硬膜外 □硬脊麻 □傍頚管ブロック |
| 胎位 | 立: 口頭位 口横位 口骨盤位 口その他 ()))))))))))))))))) |
| 出名 | 上時計測 :体重 |
| Ai | 台盤重量 |
| 新生 | E児黄疸 :□なし □あり→(生後日目 治療:□光線療法 □交換輸血) |
| 新生 | E児合併症 :□なし □あり→ (診断名:) |
| 新ら | ೬児搬送 :□なし □あり→ (医療機関名:) |
| | ■ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 |
| | |
| 母(| 本 感染症 :□なし □あり→ □HBs 抗原陽性(□HBe 抗原陽性 □肝機能異常) |
| | □HCV 抗体陽性(□HCV-RNA 陽性 □肝機能異常) □梅毒反応陽性(□STS・RPR 陽性 □TPHA・FTA-ABS 陽性) |
| | □HIV 感染(ウェスタンブロット或いは RT-RCR で確認されたもの) □HTLV-1 抗体陽性 |
| 批升 | □ 回頚管クラミジア抗原陽性 □ GBS 陽性 □ その他 ()) □ □ □ □ □ □ □ □ □ |
| <u>ж</u> ., | □自己免疫性疾患 □心疾患 □腎疾患 □肝炎 □脳梗塞 □脳内出血 □てんかん □血液疾患 □悪性腫瘍 |
| | □精神疾患 □神経疾患 □血栓症 □その他(病名 |

| 妊娠中に使用した薬剤:□なし □あり→ □ステロイド □抗生物質 □鉄剤 □葉酸 □その他() |
|--|
| 不育症治療 (不妊治療、流産予防を含む) :□なし □あり→ □低用量アスピリン □ステロイド □ヘパリン |
| □プロゲステロン □免疫療法 □漢方薬 □その他() |
| 頚管熟化・陣痛促進剤 :□なし □あり→ □プラステロン硫酸ナトリウム(マイリスなど) □オキシトシン □PGE2 |
| □PGF2α ロゲメプロスト(プレグランディンなど) □その他() |
| 陣痛抑制剤 : □なし □あり→ □リトドリン □硫酸マグネシウム □インドメタシン □その他() |
| 慢性疾患に対する定期的投薬:□なし □あり→(内容: |
| ョード剤の使用(甲状腺疾患治療・造影検査など):□なし □あり→(時期:妊娠()週ごろ) |
| (種類: |
| 今回妊娠前3ヶ月以内の子宮卵管造影検査:□なし □あり→(使用造影剤:) |
| 妊娠中の栄養指導: □なし □あり→(時期:妊娠()週ごろ) |
| 理由:(|
| 産科・分娩合併 症:□なし □あり→(*ありの場合、診断した妊娠週数を[()週()日]欄に記入) |
| |
| │ │ │ □前期破水[()週()日] □前置胎盤[()週()日] □胎児機能不全[()週()日] |
| │ │ □羊水過少[()週()日] □羊水過多[()週()日] □絨毛膜羊膜炎[()週()日] |
| □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ |
| |
| □妊娠高血圧症候群[□軽症 □重症:()週()日]□その他()[()週()日] |
| 新生児の身体異常:□ なし □あり→ (*確定診断名にレ点を記入し、未確定の場合は最終行の「未確定の異常欄」に概要を記入する) |
| □ 頭部・脳:□無脳症 □脳瘤 □小頭症 □水頭症 □全前脳胞症 □脳梁欠損 □その他の頭部・脳異常() |
| <u> </u> |
| □ |
| : ̄ ̄ : <u>ロ顔面</u> : □ : ロ唇裂 □ : 口蓋裂 □ : ロ唇口蓋裂 □顔面裂 □先天性歯 □その他の口顔面異常() |
| │ │ <u>上肢</u> :□多指症 □合指症 □裂手症 □その他の上肢異常() |
| <u>胸部</u> :□先天性横隔膜ヘルニア □肺分画症 □CCAM(先天性嚢胞性腺腫様奇形) □肺低形成 □先天性心疾患 |
| □不整脈 □その他の胸部異常() |
| <u>腹部</u> :□臍帯ヘルニア □腹壁破裂 □食道閉鎖 □十二指腸閉鎖 □小腸閉鎖 □直腸肛門閉鎖 □鼠径ヘルニア |
| 口その他の腹部異常() |
| <u>泌尿生殖器</u> :□水腎症 □嚢胞性腎奇形 □腎無形成 □尿道下裂 □停留精巣・非触知精巣 |
| 口膀胱外反症・総排泄腔外反症 口陰核肥大 口腔欠損 口性別不分明 口その他の泌尿生殖器異常() |
| <u>下肢</u> :□多趾症 □合趾症 □裂足症 □その他の形態異常 □その他の下肢異常() |
| 皮膚:□6個以上または巨大な色素異常斑(□茶 □黒 □赤 □白) □血管腫 |
| □継続する水疱・小水疱・びらん形成(先天性表皮水疱症、色素失調症) □その他の皮膚異常() |
| │ <mark>背部</mark> :□脊髄髄膜瘤(二分脊椎) □その他の背部異常() │ |
| <mark>染色体異常</mark> :□Down 症候群 □trisomy 18 □trisomy 13 □Turner 症候群 □その他の染色体異常() |
| →染色体検査による診断の確定:□あり □なし |
| 骨格・筋:□致死性骨異形成症 □軟骨無発生症 □軟骨無形成症 □骨形成不全症候群 □ サース・コース・ト・ロスの他の母族・窓界党(|
| □先天性多発性関節拘縮症 □フロッピーインファント □その他の骨格・筋異常 ()) ■ 対象・□結合性関 - 関節・□羊膜索症候群 |
| │ <u>結合</u> :□結合胎児 |
| <u>□その他の異常</u> (確定診断名: |
| |
| 採取検体の実施(施行されたものにチェック):□母体血 □母体尿 □臍帯血 □臍帯 |

Exposure to heavy metals among women, neonates and young children in Japan and Pakistan: food duplicate risk assessment study

[Pakistan component]

Investigators:

Faculty:

Fujio Kayama, Jichi Medical University.

Takahiko Yoshida, Asahikawa Medical University.

Keiko Nohara, National Institute of Environmental Studies.

Zafar Fatmi and M. Masood Kadir, Division of Environmental Health Sciences,

Department of Community Health Sciences, Aga Khan University.

Students: Aneeta Khoso and Adeel Khan, Aga Khan University.

20 August, 2013

Collaboration between Jichi Medical University & Asahikawa Medical University,
Japan and Division of Environmental Health Sciences, Department of
Community Health Sciences,

Aga Khan University

Objectives:

- To determine the total exposure of arsenic and lead among children, newborn and pregnant women in urban and rural population of Pakistan.
 - Determine the source and proportion of exposure for lead from food and air (source apportionment).
- To validate the food frequency questionnaire with the food group eaten by urban and rural population.
- To determine the biomarker of effects (searching for new biomarkers of effects).
 - o Epigenetic difference in cord bloods due to exposure to heavy metals.

Comparison studies:

- To compare heavy metal (arsenic and lead) exposure (total intake) among urban and rural population in Pakistan.
- To compare the biomarkers of effects (as above) among and between Pakistani and Japanese population with the differential exposure.

Introduction:

Metals and elements in food are of interest because of their potentials on human health risk. Some are known to be harmful to health (1). Lead is a known neurotoxin, particularly for young children. Its exposure during pregnancy and early childhood is harmful for neuropsychological development of the children (2). Inorganic arsenic is human carcinogen. Several non-carcinogenic adverse health effects of arsenic have also been identified (3, 4). Arsenic is not mutagenic, however affect the genes through epigenetic mechanism. While some other elements, such as copper, chromium, selenium and zinc are essential to health but they may be toxic at high levels of exposure. Heavy metals (arsenic and lead) exposure in food and also through air pollution lead to long term health effects among those exposed to these in their childhood. Lead is still the leading heavy metal with the highest global burden, especially for developing countries like Pakistan (5, 6). The underground water in Pakistan is heavy contaminated with Arsenic. The same water is used for agriculture and lead to further exposure through vegetable and fruits (7).

The health risk of heavy metals can be assessed by comparing estimates of dietary exposures with the Provisional Tolerable Weekly Intakes (PTWIs) and Provisional Maximum Tolerable Daily Intakes (PMTDIs) recommended by the FAO/WHO Joint Expert Committee on Food Additives (JECFA) as a part of the United Nations.

Malnutrition including under and over nutrition is an enormous public health problem worldwide, particularly in developing countries. Malnourished pregnant women and young children have devastating health effects in the shape of immediate and future burden of diseases. Malnutrition has several level of determinants from food production and agriculture to availability, cost and access to food, and also most importantly the choice and preparation/cooking of food. All of the above lead differential distribution of calorie intake, macro and micronutrient availability in the food.

Therefore, it is imperative to know the calorie intake, macronutrients distribution and its proportion in the local cuisine. Food frequency questionnaires (FFQ) are often used to determine the calories, macro and micronutrients in the food, based on recall. However, FFQ is subjective in nature and has its limitation in nutritional assessment (8). Food basket surveys and market basket surveys has also been done (9, 10). Also, even if the food types, amount and frequency is reliably recalled, the processing (cooking) of food itself make changes which are beyond assessment by FFQ and food basket surveys.

Therefore, it is important to have an objective assessment of calorie intake, macro and micronutrient intake, especially for pregnant women and young children. The information will not only do the objective assessment of intake of calories, macro and micronutrients among

pregnant and breastfeeding women and children in Pakistan but provide intervention options for improving nutritional status for the most vulnerable and important population subgroup where the burden of malnutrition is the largest.

Lead levels in environment and exposure is steadily decreasing in Pakistan. However, it is still very high from the health standards (11, 12). Millions of people living along river Indus are affected by arsenic through drinking groundwater. Total intake assessment of heavy metals such as arsenic in rural population and lead in urban areas among children and breastfeeding mothers in Pakistan will determine the future burden of disease among the population. All of this information may lead to policy formulation regarding food and heavy metal monitoring in Pakistan.

Materials and Methods:

Study site: The study will be conducted at two sites in Pakistan (and urban location in Karachi and a rural Gambat taluka, Khairpur, province of Sindh, Pakistan).

Karachi is a megacity and the population is exposed to high levels of lead due to air and soil pollution. The population living along River Indus is exposed to high level of arsenic through underground drinking water.

Study population: Three individuals of the same family will be recruited, including:

- Women
- Newborn (1-3 months old), and
- Young child (2-5 year old)

Sample size: A total of 100 families, 50 each from urban and rural location will be recruited for sampling. A small sample of 25-30 individuals, are appropriate for objective exposure assessment studies. Our sample of 50 at each location will also allow any subgroup analysis of high and low exposed population.

[Note: A total of 100 (50 each in Northern Japan – under Asahikawa Medical University - and Central Japan – Jichi Medical University) families will be recruited for comparative studies].

Samples and Sampling Methods:

- 1. Biological samples:
 - Hair samples: A sample 60-100 hairs from different places from the scalp base will be collected from the women for determining arsenic and lead exposure.
 Collection method: Hair samples will be collected by using gloves and will be kept in arsenic-free polyethylene bags with zip-lock before analysis.

- Nail samples: All nails of both palms and soles. We will determine arsenic and lead levels for exposure assessment.
 - Collection method: Nail samples will be collected using gloves and kept in arsenic-free polyethylene bags with zip-lock before analysis.
- Placenta: It will be collected at the time of delivery. A sample of placenta will be cut (measuring 1x1 in diameter) from the fetal side and will be kept in polythene arsenic-free bags with zip-lock.
- Blood of pregnant women: 5ml blood will be collected by venipuncture.
- Cord blood for newborn: 8 ml blood will be collected from the cord.
- Blood of young child (sibling) (2-5 years old): 5 ml blood will be collected by venipuncture.
- Urine of breastfeeding women: Morning void urine samples of the breastfeeding women (60 ml) will be collected.
- Breast milk as newborn feed: One time breast milk sample of 30-50 ml will be collected for measurement of persistent organic pollutants (POPs), lead and arsenic.

2. Food duplicate samples:

Food duplicates for three-days for the young child (2-5 year old), breastfeeding women and one-time breast milk (as food duplicate for newborn) will be collected from the family. 'Food duplicate' means the same amount of duplicate food which is eaten by the individuals.

Collection method: Solid food will be collected for breakfast, lunch, dinner and snack in steel (arsenic and lead-free) containers separately for mother and child. Liquid food and water (total drinking water) will also be separately collected in plastic bottles for both child and mother.

- 3. Air and dust samples: Dust and air samples will be collected for 24 hours from the living rooms of the child (where the child spends most of his time in the home).
 Collection method: Dust will be collected for one day using vacuum cleaners. Air samples will be collected using low-volume samplers on 47mm glass filters.
- 4. Water sample: A sample of first-run tap or well water will be collected from the drinking water source for the household.
- 5. Lead contents in household items: Lead levels in household utensils, paint, dust, toys and furniture will measured using Niton handheld XRF analyzer. Spot samples will be

collected. Correlation between lead levels in household items and food lead and blood levels will be done.

Sampling procedures in a household:

A total three days will be spent and sampling will be done in one household (Day 0 to Day 2). An additional day (Day 3) will be kept for correction for any error in sampling. Sampling will be done on weekdays for three consecutive days. Sampling will not be done on any holiday.

Day 0: The sampling will start at 10:00 am in the morning. The monitoring time would be the same for each household. One-hour variation in start time is acceptable for different households. A total of 72 hours of drinks and food would be collected for the study subjects starting 10:00 am.

During the first visit, consent will be taken from the mother and assent for the child. The study objectives and sampling details will be explained to the mother. Mothers will be advised about the food diary and keeping records of food and drinks taken by her and the child. Sampling utensils will be provided to the mother with ice-box for keeping the food and drinking samples. Urine sample container will also be provided to the mother to collect it the following morning. Incentives for cooperation and for the provision of food duplicate will be explained to the mother and provided during the last visit.

Tap or well water samples (500 ml) will be collected in a separate container. Air sampling will be explained and air sampler will be installed during the first visit in the house for 24 hours.

Dietary History Questionnaire (DHQ) and Food Frequency Questionnaire (FFQ) will be administered to the mother and young child during the first visit.

Day 1: All food samples for Day 0 will be collected in the morning during the second visit and utensils will be provided for second day. Morning void urine sample will also be collected. Air samples and equipment will be collected from household. Food diary will be checked and completed with the help of the mother.

Day 2: All food samples for Day 1 will be collected in the morning during the third visit to household and utensils for Day 2 will provide. Food diary will be checked and completed with the help of the mother.

Day 3: All food samples for Day 2 will be collected in the morning during the fourth visit to the household. Food diary will be checked and completed.

Any error in sampling will be corrected by doing an additional day of sampling.

Sample measurement and processing (field and laboratory):

Weighing and measurement of food items: Solid food items will be categorized into common food groups and weighed. Liquid food intake will measured in liters.

Food sample processing: All food samples will be brought to a hired kitchen in ice-box and will be processed daily. All solid food will be broken into small pieces with the help of food processor and will be grinded using a grinder. [Note: Only eatable parts of the solid food will be grinded and the rest will be discarded. For example bones, seeds of fruits etc. will be discarded]. All liquid food will also be mixed with the solid food and grinded together. The whole sample will be poured into big mixture tank for homogenization. A sample of 35-40 ml will be collected in duplicate in sterile arsenic-free bottles, for Japan and Pakistan, after stirring the paste to make it homogenous.

Sample for freezing and dispatch: All samples will be kept frozen at -20 °C in a refrigerator before dispatch.

Laboratory analysis:

Laboratory analysis for As and Pb levels for all the samples will be conducted at Jichi Medical University in Japan.

Exposure measurement for arsenic (As) and lead (Pb) will be conducted using atomic absorption spectrophotometry (AAS) Non-radioactive isotope profiles of Pb in house dust and food duplicates and the biological samples from some subjects will also be analyzed for Pb source apportionment.

To assess body burden of As and Pb will be conducted by measuring the metal concentrations in the biological samples such as hairs, nails, blood, breast milk and urine. Whole blood and placenta samples will be processed to extract DNA using Qiagen kits.

Urine samples will also be analyzed for 8-OHdG concentration and Delta aminolevurinic acid concentration.

Statistical analysis:

The analysis will be done based on the following objectives:

- To determine the health effects due to arsenic and lead exposure
- To determine correlation between surma use of mother and child and blood lead levels of mother and child.

- To determine correlation between utensils, household dust, paint, toys and blood lead levels of mother and child.
- To determine the effect of arsenic and lead on child development (follow-up of the cohort using Bayley's scale).
- To determine the total sodium intake of young child, newborn and pregnant women.

References:

- 1. Domingo JL, Perelló G, Giné Bordonaba J. Dietary Intake of Metals by the Population of Tarragona County (Catalonia, Spain): Results from a Duplicate Diet Study. Biol Trace Elem Res. 2012;146(3):420-5.
- 2. Lanphear BP, Hornung R, Ho M, Howard CR, Eberly S, Knauf K. Environmental lead exposure during early childhood. J Pediatr. 2002;140(1):40-7.
- 3. Kapaj S, Peterson H, Liber K, Bhattacharya P. Human Health Effects From Chronic Arsenic Poisoning—A Review. J of Env Science and Health. 2006;41(10).
- 4. Schuhmacher-Wolz U, Dieter HH, Klein D, Schneider K. Oral exposure to inorganic arsenic: evaluation of its carcinogenic and non-carcinogenic effects. Crit Rev Toxicol. 2009;39(4):271-98.
- 5. Kadir MM, Janjua NZ, Kristensen S, Fatmi Z, Sathiakumar N. Status of children's blood lead levels in Pakistan: implications for research and policy. Public Health. 2008;122 (7):708-15.
- 6. Iqbal MP. Lead pollution A risk factor for cardiovascular disease in Asian developing countries. Pak J Pharm Sci. 2012;25(1):289-94.
- 7. Fatmi Z, Abbasi IN, Ahmed M, Kazi A, Kayama F. Burden of skin lesions of arsenicosis at higher exposure through groundwater of taluka Gambat district Khairpur, Pakistan: a cross-sectional survey. Environ Geochem Health. 2013;35(3):341-6.
- 8. Hedrick VE, Dietrich AM, Estabrooks PA, Savla J, Serrano E, Davy BM. Dietary biomarkers: advances, limitations and future directions. Nutrition Journal. 2012;11(109).
- 9. Schecter A, Päpke O, Harris TR, Tung KC, Musumba A, Olson J, et al. Polybrominated diphenyl ether (PBDE) levels in an expanded market basket survey of U.S. food and estimated PBDE dietary intake by age and sex. Environ Health Perspect. 2006;114(10):1515-20.
- 10. Zahir E, Naqvi IM, Mohi Uddin S. Market basket survey of selected metals in fruits From Karachi city (Pakistan). J basic appl sci. 2009;5(2):47-52.
- 11. Rahbar MH, White F, Agboatwalla M, Hozhabri S, Luby S. Factors associated with elevated blood lead concentrations in children in Karachi, Pakistan. Bull World Health Organ. 2002;80:769-75.
- 12. Kadir MM, Janjua NZ, Kristensen S, Fatmi Z, Sathiakumar N. Status of children's blood lead levels in Pakistan: implications for research and policy. Public Health. 2008;122(7):708-15.